

NO	時期	時期区分	タイトル	場所	概要	提案者
1	1991-2000	前期	舞子公園駅北地区第一種市街地再開発事業	神戸市舞子	「地区計画制度」という当時新設されたばかりの新しい制度を活用して、区画道路・広場(2号施設)の用地費・整備費・補償費・附帯事務費等の公共施設管理者負担金と施設建築敷地内に壁面線によって担保された緑道・緑地(地区施設)の補助金の導入を市街地再開発事業の中に図った。このことは、施行区域としての計画密度を下げながら、実質的な敷地の計画密度を上げ、その結果生まれる空気を市街地環境の質的改善に繋げるという「低容積下での市街地再開発事業」を成立させる効果をもつこととなっている。	齋藤彰良
2	1991-2000	前期	宝塚新都市環境計画にかかわる基礎的研究		ニュータウン計画に環境に配慮した暮らしという概念を導入する計画策定を行ったこと。	宮前保子、難波健(発注者、共同研究者)、宮前洋一
3	1998-2003	前期	那覇新都心の施設地区の計画、設計	沖縄県那覇市	那覇市の都心に隣接する米軍住宅跡地(約35.5ha)において、米軍施設跡地開発のモデルとなるべく先導的な整備を進めるための計画の検討(全体、センター地区、景観など)、都市計画等による実現手段の検討、公共サインの設計等を行った。新しい都心形成のモデルをつくるため、多くのプランナーやデザイナーが関与した。	堀口浩司(加藤源、中野恒明(幹線道路の景観計画)、森重和久(サイン設計)、ヨシモトポール(デザインボール制作)、コトブキ(サイン制作))
4	1991-2000	前期	無錫国際科技新城概念計画及び無錫(太湖)国際科技园概念計画及び重点区域都市設計業務	海外	江蘇省無錫市は1992年から郊外部に約140km ² の新区(新都市)を建設し日本をはじめ世界のブランド工場を誘致し中国でも有数の最先端製造団地を形成してきた。近年のこの地域への需要圧力から約200km ² に拡充する計画を国際指名コンペで策定することとなった。我々はコンペで特定され引き続き約27.4km ² の太湖国際科技园概念計画及び重点区域都市設計の依頼を受け計画設計を行った	田村博美
5	1991-2000	前期	『郊外の二〇世紀』『近代日本の郊外住宅地』		日本の戦前から現代に至る郊外住宅地開発の、開発時期ごとのデザインコンセプトの差異と、住環境の変容過程を追跡調査し、その特徴と問題点を整理した。あわせて今後の郊外住宅地開発及び既存の郊外住宅地のあり方について考察した。	角野幸博
6	1991-2000	前期	アルカディア21住宅街区	兵庫県	共有地を街区中央に抱える21個の住宅街区の設計とまちなみ調整→建築家による土木デザイン、環境設計の草分け	江川直樹
7	1991-2000	前期	御坊市宮島団地の再生	御坊市	スラム化した公営住宅の建て替えを住民参加型で行い、南廊下のある立体集落を創出→次代の立体集住環境の提案・実現	江川直樹
8	1991-2000	前期	CITYヒルズ&タワーズの都市環境デザイン(広島西部丘陵)	広島市西部丘陵	「広島西部丘陵都市(後に西風新都と命名)建設計画」の一環として実施された民活型の都市開発事業。広島広域公園に隣接し計画人口10万人の西風新都の中核となる4ha、1000戸の集合住宅群として計画され、1992年に開催された広島アジア大会選手村として供用された。丘陵地帯に造成されたA、CITYでは、複数のプランナー、建築家、環境デザイナー等を組織することにより、土木・建築・造園・環境美術をコラボレートした総合的な環境形成を意図している。関西の主要企業がメンバーとなり、大阪駅北側の梅田貨物駅(北ヤード)跡地の再開発に関して、民間からの種々の提案を行った。筆者は、事務局として同フォーラムが提案した「メディアシティ基本計画」のとりまとめを分担した。同基本計画は、北ヤードをどう生かすべきかの空間コンセプトのデザイン、計画実現のための仕組みの提案などを含む都市機能的にもデザイン的にも野心的なものであった。	土井幸平
9	1991-2000	前期	メディア・シティ・フォーラム(1986~1998)	大阪市北ヤード	同基本計画は、北ヤードをどう生かすべきかの空間コンセプトのデザイン、計画実現のための仕組みの提案などを含む都市機能的にもデザイン的にも野心的なものであった。	澤木昌典
10	1993-2000	前期	キャナルタウン兵庫	神戸市キャナルタウン	JR兵庫駅を中心とした周辺地区を活気ある魅力的な街の再生を目的とした事業計画。兵庫の歴史・文化・生活・都市形成を受け、新しい住まい・健康スポーツ・商業・文化施設が複合した潤いと緑あふれる街づくりとして進められた。都市デザインのコンセプトは明治以後から続く兵庫港から物流や人と生活をつなぐ兵庫運河に連続する「新運河のある街」をコンセプトとして計画された。	長谷川弘直(藤本昌也)
11	2001-2009	後期	大阪大学キャンパス(工学部)の再生	吹田市大阪大学	耐震改修を中心とした再生の取組みである。キャンパスは千里ニュータウンに隣接しており、地域全体が近代遺産とも言える1970年頃に計画されたまちであると考えている。それを最先端の技術・科学を探索する場である大学で再生し使い続けること、教育・研究活動を継続させながら改修工事を遂行すること、これらの取組みを継続するためにキャンパス全体のマネジメントを行う	若本 和仁
12	2001-2009	後期	くずはモールの再整備	大阪府	1、日本初のオープンモールである当施設を、地域住民の記憶や建築としての歴史に配慮しながら、21世紀にも受け入れられるSCとして再生。 2、計画実現のために、単なる建物デザインにとどまらず、交通処理を含むエリア全体のコーディネートを行い、事業全体の推進を行なった。 3、商業施設としての機能性や事業性を踏まえ、インナーモールにてメインモールを構成しながら、外部には記憶を残すためのアウトモールを形成するなど、デザイン面にも展開した。	藤川敏行
13	2001-2009	後期	国際文化公園都市・彩都における一連の業務	茨木市彩都	マスタープラン策定メンバー→ジオ彩都みなみ坂設計、彩都ガーデンヴィレッジあさぎ設計、ガーデンモール彩都設計他	三好庸隆
14	2001-2009	後期	明石舞子団地再生計画に係る一連業務	明石市明舞団地	コンペ最優秀→中央センター計画中	三好庸隆
15	2001-2009	後期	浜甲子園さくら街	西宮市	大規模住宅団地の再生を、沿道アクセス可能な街区型で、かつ塔状の高層等を混在させた中層主体で実現し、親密性・親密性に富んだタウンスケープをつくる団地再生として具現化	江川直樹
16	2001-2009	後期	千里ニュータウンの住環境保全にかかわる一連の調査研究『ニュータウン再生-住環境マネジメントの課題と展望』出版	吹田市千里NT	千里ニュータウンの住環境保全に関わる、ほぼ最初の歴史的記録であり、我が国都市計画および都市環境デザイン上、重要な意味を持つ。住環境保全への取り組みの歴史的検証を通じた、今後の住環境マネジメントのあり方への言及は、千里ニュータウンのみならず、成熟化が進む我が国ニュータウンの今後のまちづくりに有益な示唆を含んでいる。	山本 茂
17	2004.10-2007.4	後期	環境共生型小舟木エコ村の理念をVRとショートムービーでわかりやすく伝える	滋賀県近江八幡市	・小舟木エコ村らしいサスティナブルなライフスタイルを考えるにあたって、「小舟木エコ村とは何か」という出発点に立ち返り、事業者をはじめとするメンバーと何度も議論を重ねた。その結果、最終的には①地域の畑と食卓をつなぐ、②自然とつながる住まい、③緑あふれるまちなみづくり、④大学とNPOとの連携による課題解決、という4つのコンセプトに至った。	福田知弘